

21世紀 COE「流動ダイナミクス国際研究教育拠点」

平成16年度 国際宇宙大学サマーセッション派遣 報告書

平成 16年 9月 6日

氏名	中村 寿		
所属	工学研究科航空宇宙工学専攻 博士課程後期2年		
指導教官名	流体科学研究所 極限流研究部門 極限反応流研究分野 教授 小林 秀昭		
派遣期間	平成 16年 6月 19日 ~ 平成 16年 9月 1日		
派遣先(施設名/都市名/国名)	南オーストラリア大学・アデレード大学・フリンダース大学/アデレード/オーストラリア		
派遣期間中における主な訪問先	ウーメラ、アルカロラ		
参加人数	114人(内日本人 4名)	参加国数	27か国
参加チームプロジェクト	Lunar Missions in the Framework of Current Space Exploration Initiatives for Mars		
著名な講演者	James Burke(アメリカで最初に月面に到達した宇宙機 Ranger の初代プロジェクトマネージャー), Peter Diamandis(X Prize 財団の会長)		
派遣期間中の協賛学会等への参加	8th Australian Space Development Conference		

プログラムの中で一番印象に残ったのは、ZUNI という観測ロケットの打ち上げです。最高高度7km、最高速度マッハ2と、本格的なロケットです。このペイロード部をチームのみんなで試行錯誤しながら製作しました。みんなで作ったロケットが打ちあがった瞬間はとても感動的でした。

国際宇宙大学サマーセッションプログラムでの最大の特徴は人的ネットワークです。参加国数は27カ国で、多くの文化について学びます。参加者は理工学のみならず、経営・法律・医学といった極めて幅広い分野の第一線の研究者です。彼らのキャリアは大学院生からプロジェクトマネージャーまで、年齢は20代から40代まで、さまざまです。彼らとともに寝食をともにした濃密なスケジュールをこなします。プログラムを終えた今、私には世界中にあらゆる分野の友達があります。彼らとともに、今後の宇宙開発を推進して行く所存です。



ZUNI ロケット打ち上げ直前



Closing Reception